

令和 5 年 6 月 14 日現在

機関番号：32689

研究種目：基盤研究(C)（一般）

研究期間：2017～2022

課題番号：17K03968

研究課題名（和文）青少年期の短期海外経験がグローバルマインドセットに与える影響とそのプロセスの解明

研究課題名（英文）Exploring the impact and process of short-term overseas experiences during adolescence on developing a global mindset.

研究代表者

小西 由樹子（KONISHI, Yukiko）

早稲田大学・商学大学院（ビジネス・ファイナンス研究センター）・その他（招聘研究員）

研究者番号：10769920

交付決定額（研究期間全体）：（直接経費） 2,300,000円

研究成果の概要（和文）：本研究の目的は「青少年期の短期間の海外経験が彼ら彼女らのグローバルマインドセットの育成にどのように影響を与えるのか」を解明することであった。いくつかの調査を行った結果、（1）長期間の海外留学でなくても、短期間の海外研修でも、グローバルマインドセット育成にいくらかの効果があることが分かった、また（2）グローバルリーダー研究でよく言われている先行要件「語学力」と「過去の海外居住経験」がなくても、現地の人とコミュニケーションをとると、異文化適応に効果があることが分かった

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究成果は、グローバル人材育成の新たな方法を提案し、高等教育機関における海外研修のプログラム構成にも参考になると考えられる

研究成果の概要（英文）：The purpose of this study was to investigate how short-term overseas experiences during adolescence impact the development of a global mindset. Through several investigations, we found that (1) even short-term overseas programs, rather than long-term study abroad, have some effect on cultivating a global mindset, and (2) contrary to common prerequisites mentioned in global leadership studies such as language proficiency and past experience living abroad, engaging in communication with local people contributes to intercultural adaptation.

研究分野：グローバル人材育成

キーワード：グローバル人材 人材育成 海外研修 異文化適応 グローバルマインドセット

科研費による研究は、研究者の自覚と責任において実施するものです。そのため、研究の実施や研究成果の公表等については、国の要請等に基づくものではなく、その研究成果に関する見解や責任は、研究者個人に帰属します。

### 1. 研究開始当初の背景

近年、急速に進展する国際社会において、指導的な役割を果たすグローバル人材の育成に重点を置いた教育改革に取り組む高等教育機関が増加している。グローバル化によるモノ・カネ・ヒト・情報の流動化、気候変動や自然災害、そして最近では世界を揺るがすテロ、政治情勢の不安定さ、移民問題などにより、社会はますます複雑になっている。こうした社会において、積極的な関与者や指導的な役割を担う人々に求められる資質や能力も変化してきている。かつては言語能力がグローバルと理解されることが一般的だったが、近年では、語学力だけでなく、傾聴力や情報発信力、交渉力を含むコミュニケーション能力や多様性の受容、論理的思考力、問題解決力、チームでの協力能力、行動力など、より広範な要素が重要視されるようになってきている。つまり、高等教育機関はこれまで以上にこれらの能力や資質を育む教育機会を積極的に提供しなければならぬ状況にある。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、「青少年期の短期間の海外経験が彼ら彼女らのグローバルマインドセット[注 1]の育成にどのように影響を与えるのか」という疑問に科学的な解答を見つけることである。グローバル化の進展により、「国際的な視野を持って活躍できる人材」が必要とされている。申請者は、こうした人材の3つの資質のうち最も育成が難しい「グローバルマインドセット」の育成に着目してきた。そして、既存研究を発展させ(1)グローバルマインドセットの育成プロセスの解明と(2)グローバルマインドセットの持続性を検証していく。この結果これまで「私を変えた」など抽象的で不明確であった青少年期の短期海外経験の効果が幅広く認識されることを目指す。

[注 1]グローバルマインドセット：異文化に起因する多様性を意識して受け入れる性格と、この多様性を統合できる能力をあわせ持つものである

### 3. 研究の方法

主な調査対象者を大学生として、インタビューによる定性的分析手法やアンケート調査による定量的分析を行い、いくつかの学会発表と論文制作を行った。

当初は短期の海外経験を調査対象としていたが、COVID19の影響で、海外渡航ができなくなっただけからは、オンライン海外研修や、グローバルマインドセットだけでなく、アントレプレナーシップなど調査の範囲を変更/拡大して研究を進めた

### 4. 研究成果

下記の論文と学会発表を行った

#### 論文

2017年3月 論文「短期留学を通じた自己効力感の向上 -参加大学生へのインタビューを用いた質的調査 -」

2018年3月 論文「海外実習参加に影響を与える要因 参加医学生インタビューの計量テキスト分析」

このほか、投稿中/制作中の論文3本

#### 学会発表

2017年10月 国際学会発表「Self-Efficacy Enhancement in a Short-Term Study Abroad - A Modified Grounded Theory -」

2017年10月 学会発表「医学生の海外臨床実習プログラム-研究方法の検討-」

2017年12月 学会発表「グローバルリーダーに必要な能力と資質 海外駐在経験者を含めた3グループの比較分析」

2018年1月 学会発表「グローバルリーダーシップに必要なグローバルマインド」

2018年11月 学会発表「グローバルリーダー育成に対する学生時代の海外留学の有効

性 - 日本の駐在員と留学生の滞在地域ミスマッチの原因分析を用いて - 」  
2019年5月 学会発表「日本人大学生の教育消費としての留学需要分析」  
2019年12月 学会発表「外部機関の異文化コミュニケーションプログラムを取り入れた  
新入生オリエンテーションの効果」

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計2件（うち査読付論文 1件/うち国際共著 0件/うちオープンアクセス 0件）

1. 著者名 Yukiko Konishi	4. 巻 5 (3)
2. 論文標題 The Relationship between Self-Efficacy and Short-Term International Experience; A Qualitative Analysis of University Students	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 International Academic Journal of Organizational Behavior and Human Resource Management	6. 最初と最後の頁 17-25
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小西 由樹子	4. 巻 49
2. 論文標題 海外実習参加に影響を与える要因 参加医学生インタビューの計量テキスト分析	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 早稲田国際経営研究	6. 最初と最後の頁 41-48
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計8件（うち招待講演 0件/うち国際学会 2件）

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 日本人大学生の教育消費としての留学需要分析
3. 学会等名 異文化経営学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 外部機関の異文化コミュニケーションプログラム を取り入れた新入生オリエンテーションの効果
3. 学会等名 人材育成学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Yukiko Konishi
2. 発表標題 An Investigation of Factors Determining Study Abroad and Destination Choice of Japanese Students
3. 学会等名 International Conference on Business, Management, Technology and Education (国際学会)
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 グローバルリーダー育成に対する学生時代の海外留学の有効性 - 日本の駐在員と留学生の滞在地域ミスマッチの原因分析を用いて -
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 グローバルリーダーシップに必要なグローバルマインド
3. 学会等名 岐阜大学医学教育開発研究センター
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 グローバルリーダーに必要な能力と資質 海外駐在経験者を含めた3グループの比較分析
3. 学会等名 人材育成学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 医学生の海外臨床実習プログラム 研究方法の検討
3. 学会等名 国際ビジネス研究学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 小西 由樹子
2. 発表標題 Self-Efficacy Enhancement in a Short-Term Study Abroad - A Modified Grounded Theory -
3. 学会等名 The Asian Academy of Management (国際学会)
4. 発表年 2017年

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関